



地方板集成

十

7保3
3.347
8



門 7 保 3
號 9.347
卷 8

地方扱集成後篇卷之十

目錄

檢地振元并新田新治并
費之事
永之事
之
一浪納之事
園東之
遠沙
中代記之事
園東
屋付
並法之事
山川
並
並
結之事



合改並用此法近年又換地六尺竿他如旧法
以其未之故此不取之

曰園敷説の中筆半尺竿とありて
よりの筋の古換と云の村や
半尺場市と云傳へて
主材は換地は勿論に外他は
つり事か
傳へて
量地は
と申と云と換へて
と申と云と換へて

えりよ地
六尺竿と云と換へて
義法は倍
二つあり
制
の
佐別
は
官
半
竿
と
云
と
換
へ
て
と
申
と
云
と
換
へ
て

右を反音音部の中古より反音部
に存する小く初年分とを部と
十部とを部とを部とを部と

一 制度通曰本朝之古制凡田長三十步廣
十二步為段十段為町右三十間十二間
也

一 日本紀曰孝徳天皇三年春班田既訖凡
田長三十步為段十段為町

本朝古へ歩カズハ唐へ准シテ五尺ヲ一坪ト
ス一反ハ三百六十歩ナリ一町八十段ニシテ

三千六百坪ナリ町ハ唐ノ頃ニ准シ廣狹アリ
今ハ三千坪夫町トシ三百坪ヲ段トスコレ天
正年中ヨリ始ルト云ヘリ又一段ヲ割テ一畝
トス何頃ヨリ始ルトヲ知ラス

田をよと云稱りてとを坪とを部と
也希系大尺をんやと別ち人を自之に注古ハ音
之部坪とてとを今ハ音坪とを部と年坪と
音部と年ハ部者りよと音部とを部と
西の部の部と始り石部とを部とてハ部とを
名自注とてとを部とを部と

故ニ訛リ轉シテ如是拾苾ニ又曰十段為一町
頭十段為一町積三十六町為里起從西行
於東限リテ町始良終乾但已上河右ノ口ケ又
令ニモ見ヘタ其後ノ制法ト見ヘタリコレハ
今ノ三十六町一里四方ノ處西ヨリカヅヘ始テ
一里二里ト云每一里法一町ノモノ三十六ケア
リテ幅一町ニ長サ六町也又是チ北ヨリカ入
ヘテ一條二條ト云每一條又方一町ノモノ三十六
箇アリテ幅一町ニ長サ三十六町也里ト云條ト
云モ固ニテ豎ト横トヨリツモル迄ノ替リナリ

古ヘ田地ヲハカル定法ト見ヘタリ今ニ至リテ
鄉村ノ名ニ東條西條ホノ名アリ又古ヘノ
文書ニ其條ト云一多クイヘリ古ヘ通シ行
ハレタル一ニテ中古以來其法廢絶スト見ヘタ
リ拾苾又曰條里ノ起リ可隨因例是ニテ
可知本朝モ中国ノ法ニテ一里ノ内ニ小名ナシ
何里何町ト云フヲ見ス拾苾ニ三十六町ヲ
為一里ト云一アリ是上ニ論スル通りニテ田地
積リ方一町田ヲ三十六ナラベタルヲ云路程ノ事
ニアラス三十六町一里ト道法ヲツモルハ是ラ

ヨリ轉シタル一ナルヘシ惣別本朝里ト云フ
三様アリ戸令ニ以五十戸為一里ト云ハ土地ノ
廣狹ニカマワス家数ヲ以テ一在所ヲ立ルノ
名ナリ雜令ニ凡三百六十歩ヲ為里ト云ハ
路程ノ法ナリ世ニ六町為一里ト云ハ田地ツ
モリナリ其ワケ同シカラス

田舎ノ右左ノ形法ニツキテ是レモ制
度通シ決メテ之ヨリ其ノ長短ノ音アリ
事ノ長短ノ音アリ

古今事考

予曰古者ヨリ里ノ法ニツキテ是レモ制
度通シ決メテ之ヨリ其ノ長短ノ音アリ
事ノ長短ノ音アリ

又曰百姓家一軒ト云ハ人数以有五人一軒トス
ト見ヘタリ既ニ甲斐国八代郡二ノ宮造立
勸化ノ節一軒ヨリ叔五合ツ以判外可
勸進入ト有リ其節三人ノ竈二人ノ竈ヲ

孫よ又もねしも東澄りし事
はるは去年紀よ女はあはれ時家より御
初りし事しるし高松將軍あはれ時家も
けりねし事しるし或は又去年紀の
越ハあはれの事しるしあはれ備任
し衆今しるし音書し地はあはれ
しるしあはれありし但し衆しるし
んしるし

又曰ふは去年紀しるし云ふは
し世よ毛利え就しるしあはれ
源頼朝よ

八八

概事し大徳寺大の廣元れ
中次重吉ありし一
りしるし毛利將軍あはれ
近江守しるしあはれ
あはれ吉田しるしあはれ
あはれのれし毛利少平川
あはれ家守の所所しるしあはれ
毛利廣元男子あはれ
あはれ吉田の城あはれ
あはれえ就しるしあはれ

と云

又曰後柏倉院... 一条... 数... 柳部... 南部... 又曰... 折... 一統

此の行

又曰... 又曰... 事... 千... 十... 一定

田... 数... 中... 一

又持地... 事... 地... 水... 田... 位... 村... 廣... 形... 繼... 田... 村...

一 又曰或竟... 嘉州... 持... 田... 案...

一 烟を反

母水水百回接又

母水七中

母水五中

母水五中

母水百回接又

石水

石水

但水七反又

但水五反又

但水五反又

但水五反又

一 烟を去る

母水水百回接又

母水五反又

母水五反又

母水五反又

母水五反又

母水五反又

石水

石水

石水

石水

一 又曰古来水水百回接又

鏡念子

古来水

水

是

きみとていふと子孫に傳へし中傳へしはるる
んり付る石智と極の起りて存後形とて
結ぶるのいふ所とんりあるを聖と大概十文
りの中よりとて揚南土の経にえとて
費ふと十文とをうとてとて別ハ石とて
そハ鎌倉の形とて後とて古事石と極
揚書よりと極念の形とハ形とてとて
極のえりてと極と費の起りてとて
附念とて取之石と極とてえハ古事石と極
とて法と費とて取之石の定法と極と

中事の中伐と極とて何とて
たの字と極とて今とて古事石と極
とてとてとて一旦とてとて極とて
このもと極とて又と極とてとて
と極とて古事石と極とてとて極念と極と
と極とてと極とて極念と極念と極
何とて極とてと極とてと極とて
と極とてと極とてと極とてと極
と極とてと極とてと極とてと極

右別合屋

右別合屋

母系

母系

母系

母系

母系

母系

母系

母系

右別合屋

聖

一

一

一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 三首名

之申也成之指意内指意名平宗名各
世指音之指又四合九名各々一也指意各々

一 三首名

世指音之指又四合九名各々一也指意各々
世指音之指又四合九名各々一也指意各々

一 三首名

世指音之指又四合九名各々一也指意各々
世指音之指又四合九名各々一也指意各々

一 三首名

世指音之指又四合九名各々一也指意各々
世指音之指又四合九名各々一也指意各々

右の上言の田畑の道之へ一詣物へ有るあり
より世の事有る世の事有る世の事有る

世の事有る世の事有る世の事有る

世の事有る世の事有る世の事有る

一 三首名

世の事有る世の事有る世の事有る

世の事有る世の事有る世の事有る

世の事有る世の事有る世の事有る

世の事有る世の事有る世の事有る
世の事有る世の事有る世の事有る
世の事有る世の事有る世の事有る

中... 是... 法... 別...
... 但... 百... 右... 合...
... 一

一... 音... 七... 來... 何... 何... 何...

... 九... 右... 七... 來... 各...
... 音... 七... 右... 來... 一

... 水... 右... 來... 一
... 母... 九... 來... 右... 來... 一

... 一... 水... 右... 來... 一
... 一... 水... 右... 來... 一
... 一... 水... 右... 來... 一

八... 除... 來... 一

右... 一... 水... 右... 來... 一
... 一... 水... 右... 來... 一
... 一... 水... 右... 來... 一

一... 音... 七... 來... 各...
... 一... 音... 七... 來... 各...
... 一... 音... 七... 來... 各...

... 水... 右... 來... 一
... 水... 右... 來... 一
... 水... 右... 來... 一

... 水... 右... 來... 一

一... 音... 七... 來... 各...
... 一... 音... 七... 來... 各...
... 一... 音... 七... 來... 各...

出来昔回指七石年

田方

一 洲云昔回指七石年と重法ハ一と降云
出来昔回指七石年と重法ハ一と降云

一 出来昔回指七石年

出来昔回指七石年

出来昔回指七石年

出来昔回指七石年と重法ハ一と降云
出来昔回指七石年と重法ハ一と降云
出来昔回指七石年と重法ハ一と降云
出来昔回指七石年と重法ハ一と降云
出来昔回指七石年と重法ハ一と降云

三十一

出来昔回指七石年と重法ハ一と降云

出来昔回指七石年と重法ハ一と降云

出来昔回指七石年と重法ハ一と降云

出来昔回指七石年と重法ハ一と降云

出来昔回指七石年と重法ハ一と降云

出来昔回指七石年と重法ハ一と降云

出来昔回指七石年と重法ハ一と降云

もみちの地は... 田相あり... 上より... 上と田上... 上と相と... 右と... ても... 但中...

山川地味後... 結り法...

一 地味後山川... 結り法... 海... 相... 多... 結... 結... 結... 結...

山川地味後

